

経営比較分析表（令和5年度決算）

石川県白山石川医療企業団 公立松任石川中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	ド透I訓方	救 臨 災 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	41,504	非該当	非該当	7：1

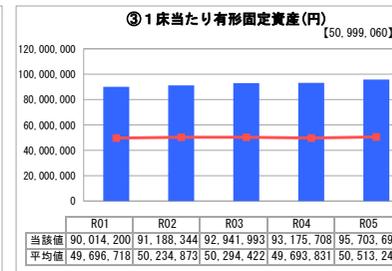
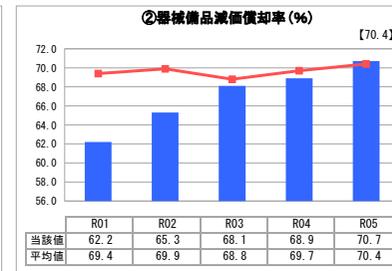
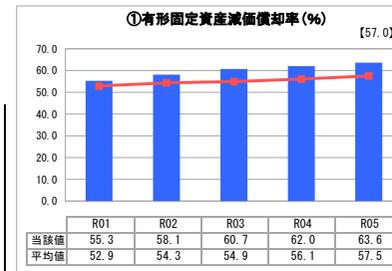
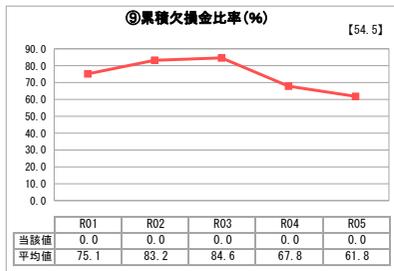
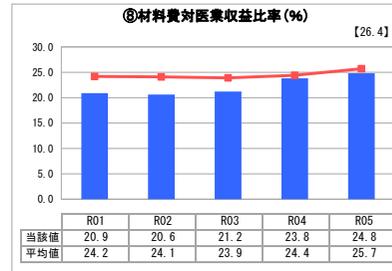
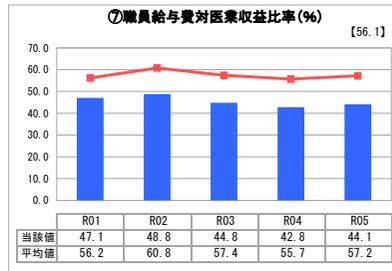
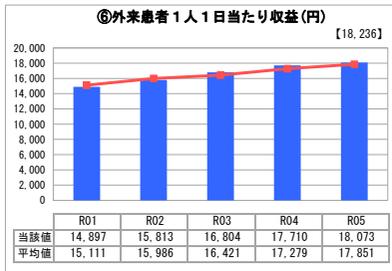
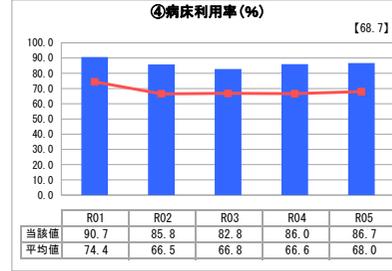
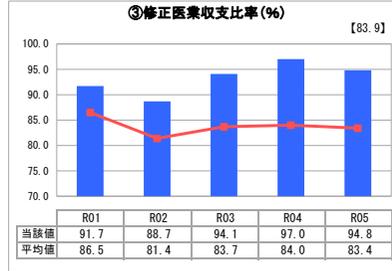
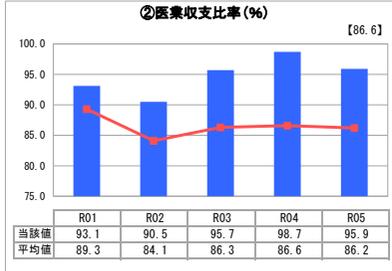
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
275	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
30	-	305
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
275	-	275

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分化・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

周辺には急性期医療を提供する総合病院がないため、救急・小児・周産期・災害・精神などのいわゆる不採算・特殊部門にかかわる医療の提供を行っている。又、この地域の医療・介護連携の拠点的作用も担い、次世代に通じる包括的な医療・介護サービスをコントロールするハブ機能の役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、患者の受診控えが戻りきらな中新型コロナウイルス感染症が5類引き下げられ、関連する補助金も打ち切りとなり、経常収支比率は99.2%と4年度ぶりに100%を割り込んだ。
また、入院、外来単価においても発熱専用施設に実施していた各種検査件数も減少し、各単価の上昇は打ち止めとなった印象を受ける。
一方で支出に目を向けると、光熱費等物価の高騰は続いており、給与費においても人事院勧告による人件費上昇分は診療報酬には十分に加味されておらず、各費用対医業収益比率は年々上昇しているが、令和6年度以降においてもさらなる高騰が予想される。
新病院建設が始まり、企業団内での適正な医療・介護機能分化が進められているが、地域医療を一体的に守るための安定した経営基盤の確保は喫緊の課題となっている。
累積欠損金については該当しない。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は年々増加しており老朽化が進む傾向にある。
器械備品減価償却率は全国平均と同程度である。また、1床あたりの有形固定資産が全国平均の1.9倍と大きい。これは、当院より半径4km圏内には100床以上の急性期病院がなく、305床という中規模施設でありながら、地域の中核病院としてPET-CT、サイクロトロンをはじめ手術支援ロボットや心臓専用SPECTなど高度医療機器を導入しているためと思われる。しかしながら、新しい高度医療機器の導入が紹介患者と収入の確保につながっており、適切な投資の範囲と考える。
令和6年度より新病院建設が始まっており、老朽化の状況については刷新されることとなるが、地域患者のニーズに応えた新病院建設を目指すところである。

全体総括

コロナ禍と物価の高騰により厳しい病院経営環境が続く一方で、令和4年度まではコロナ禍による受診控えや病床利用率の低下を、コロナ関連補助金で補填していた一面が大きい。
令和5・6年度においては全自病等で緊急アンケートがとられるほど公立病院の経営状況は全国一様に厳しいものがあり、当院も決して例外ではない。
新病院建設計画も進行中、中核の中核病院としての責務と求められる医療・介護需要を正確に汲み取り、更なる経営の健全化・効率化に取り組んでいく所存である。

※1 類似病院平均値（平均値）]については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。